

令和4年1月24日

班長級以上職員 各位

市役所内部におけるパワーハラスメント等実態把握アンケート調査へのご協力依頼

豊見城市議会豊見城市役所内部における市長等特別職からのパワーハラスメント等実態把握調査特別委員会
委員長 大城 吉徳

班長級以上職員の皆様、日々の業務ご苦勞様でございます。

さて、職員各位ご承知のとおり、昨年来、特別職含む幹部職によるパワーハラスメント（以下「パワハラ」という）問題について、長設置の懇話会形式の第三者委員会の設置に対し、市議会では、地自法第109条第1項に基づく特定事件を審査する特別委員会が設置されました。

市職員の働く環境の快適さは、市民サービスの向上を図るうえで極めて重要な事案であることから、ご多忙の折り恐縮ではございますが、ご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

なお、ご自身が市長等特別職からパワハラをうけたとかどうかだけではなく、相談を受けるなど、パワハラと思える場面に直面したという情報も含めてアンケートにご協力をお願いいたします。

このアンケートは原則無記名ですが、前回とは異なり、本特別委員会に参考人として直接参加し、パワハラについて、実状や体験等を申告（報告）頂ける職員がおりましたら、ぜひとも部署名・氏名・連絡先を回答欄に記入するか、ご不安等がございましたら直接、議会事務局へ問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

- ※ 無記名の場合は、回答者を特定することなく、秘密は厳守します。
- ※ あくまでもパワーハラスメント防止対策に役立てるため、現状を把握・共有し、職場環境の改善につなげることを最大の目的として調査をするものです。
- ※ ご回答頂いた内容は、個人が特定できる部分、不適切な表現等を除き、自由記述も含め（直筆は公開せず、タイプ後）公開いたします。
- ※ 郵送による回答を希望する職員については、郵送料を自費にてご負担いただき議会事務局宛に郵送して下さい。

【特別委員会構成委員】

①委員長 大城吉徳、②副委員長 真栄里 保、（以下委員・順不同）③徳元次人、④新垣亜矢子、⑤宜保安孝、⑥瀬長 宏、⑦新垣繁人、⑧楚南留美、⑨伊敷光寿 以上9名

事務局 豊見城市議会事務局 098-850-0025 (5101)

～ 記入・提出方法 ～

- ① 回答を希望しない方も、回収率把握のため未記入のまま提出してください。
- ② 当てはまる番号に○印または、自由記述欄に記入してください。
- ③ 回答は、返信用封筒を活用し、接着テープで封緘処理後提出ください。
- ④ 資料等を添付する場合は同封も可とし、依頼(鑑)文の同封は必要ございません。
- ⑤ 封緘後、各課取りまとめて投函いただくか、個別に投函していただいても構いません。
- ⑥ アンケート期間は、令和4年1月24日(月)～1月31日(月)の午前8時から午後6時まで(土日を除く)議会事務局前設置の回収箱へ投函お願いいたします。郵送は締め切り日の当日消印まで有効です。
- ⑦ 出向者・休職者等の方は所属部署よりご本人へ郵送のご協力をお願いいたします。尚、郵送料及び返信費用(切手)については、議会事務局までお尋ねください。

～ パワハラとは ～

「同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える。又は職場環境を悪化させる行為」としています。上司から部下に対して行われる行為だけでなく、先輩と後輩、同僚同士などの間において、地位や経験や人数など様々な優位性を背景に行われる行為を含んでいます。また、業務上必要な注意や指導は含まず、業務上不用、又は過剰で適正でないと思われる範囲で行われたものがパワハラになります。

【 Q2・Q6用 事例集 】

1. 部下のミスに強い口調で叱責する。
2. 書類を投げつける、乱暴に置くなどして修正を命じる。
3. 叱責の際に机をたたいたり、足で蹴ったりする。
4. 「降格したら?」「よくそれで仕事に出てこられるな」など嫌味を言う。
5. 多くの人が見ている前で激しく叱責する。
6. メールで注意する際に、他の職員にもCCやBCCで送付する。
7. 一人だけ隔離し、本来業務から外す。
8. 「説明してもわからない」「重要な役割を担えない」という理由で打ち合せに参加させない。
9. 明らかに無理な納期で仕事を命じる。
10. 業務の相談に来ているのに、視線を合わせない。
11. 仕事に必要な情報を故意に与えない。
12. 能力に見合わない簡易作業を継続的にさせる。
13. 理由なく担当業務から外し、未経験の仕事をさせる。
14. 手間がかかる部下に「何もしなくてもいい」という。
15. 私的なことに過度に立ち入る事(個の侵害)。

豊見城市役所内部におけるパワーハラスメント等実態把握調査

Q1 あなたご本人は、この3年間に市長等特別職（行政委員会委員含）からパワハラを受けたと感じたことがありますか。※該当する対象者に○（複数記入可）

1. ご自身が（市長・副市長・教育長・教育委員）から受けた（Q2へ進む）
2. そのようなことはない（Q5へ進む）

Q2 あなたご本人がこの3年間に市長等特別職から受けたパワハラは【事例集1～15】のどれに該当しますか。また、該当するものがない場合は、自由記述してください。

※該当する番号に○（複数記入可）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----

その他（自由記述）

[]

Q3 Q1で「あなたご本人がパワハラを受けたことがある」と回答した方へ伺います。

パワハラは具体的にどのようなものでしたか。（自由記述）

[]

Q4 Q3で回答したパワハラを受けたあなたご本人はどのような行動をしましたか。

番号に○（複数回答可）

1. 人事課等の職場の担当部署に相談した
2. 職場の上司や同僚に相談した
3. 労働組合に相談した
4. 産業医に相談した
5. 職場とは関係のない医師等に相談した
6. 弁護士や公的機関に相談した
7. しばらく職場を休んだ
8. 我慢し、何もしなかった
9. その他（自由記述）

[]

Q5 あなたは職場において、この3年間にあなた以外の方がパワハラを受けているのを見たり、聞いたり、相談を受けたりしたことはありますか。

1. ある（Q6へ進む）
2. ない（Q8へ進む）

Q 6 あなたが見たり、聞いたり、相談を受けたパワハラは【事例集1～15】のどれに該当しますか。また、該当するものがない場合は、自由記述してください。

※該当する番号に○（複数記入可）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----

その他（自由記述）

()

Q 7 Q 6 **あなた以外の人**であなたが見たり、聞いたり、相談を受けた案件について、パワハラ行為をした人とその被害者との関係として当てはまるものを伺います。

（複数回答可）

1. 常勤・非常勤特別職（市長・副市長・教育長・教育委員等）から部下へ
2. 部長・課長から部下へ
3. その他（具体的に)

Q 8 あなたはパワハラ予防策や解決のための取り組みは必要だと思いますか。

1. 積極的に取り組むべき
2. 取り組みは必要だが慎重にすべき
3. 取り組む必要はない
4. 分からない
5. その他（具体的に)

Q 9 Q 8の取り組みについて、そのための方法は。

1. 罰則規定などのルール化
2. 実態把握などアンケート調査
3. 研修の実施
4. その他・要望など（具体的に)

Q 10 市長等から受けたパワハラや第三者が受けたパワハラ等について、本特別委員会の場において参考人として参加し、実状や体験等を報告することが可能であれば、部署名・氏名・連絡先を記入してください。

部署名	氏名	連絡先

※参考人へは事前に質問通告を行い、当然答弁を拒否することも可能です。

～ お忙しい中アンケートへのご協力ありがとうございました ～